

- シカ、イノシシ、クマおよびアライグマ等の害獣がわなにかかったことを**LPWA通信(ZETA)**を用いて**メールで通知**します。
- 中継器のマルチホップ機能により、**電波が届かなかった山間部**でもわなの監視が可能です。
- 中継器、罨検知ボックスともに**電池駆動で持ち運びと設置が容易**です。

機器情報

機器の概要

捕獲をLPWA(ZETA)を用いてメールで通知

使用目的

捕獲通知 (くくりわな、箱わな、囲いわな)

対象獣種

シカ、イノシシ、クマ、アライグマ等

特長

- ◆中継器の設置によって、わなの監視範囲を容易に拡大
- ◆電池駆動のため、設置・メンテナンスが容易
- ◆防塵(ぼうじん)防水仕様(産業用機器と同等の品質)
- ◆罨検知ボックス毎に複数のメールアドレスに送信可能
- ◆専用Webアプリケーションで管理、設定

詳細仕様

罨検知ボックス



- ・約6ヵ月稼働
- ・単三形乾電池×3本
- ・85×145×33(mm)
- ・0.32kg(乾電池含む)

中継器(大容量版)



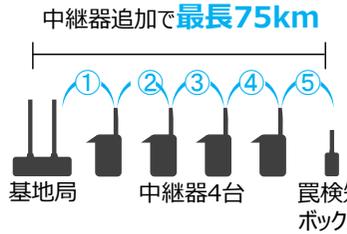
- ・約5年稼働
- ・ソーラーパネル、バッテリーが不要
- ・リチウム電池
- ・135×185×85.5(mm)
- ・1.6kg

活用技術

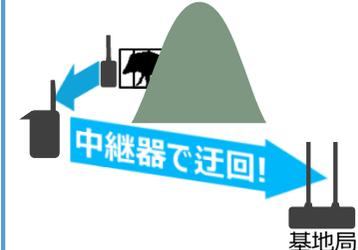
LPWA(ZETA)

- ・20mW以下(特定小電力無線局)のため**免許・登録不要**
- ・マルチホップメッシュネットワークで**最長75km**先まで
- ・中継器の設置で自由に**山間部での通信が可能**
- ・基地局1台あたり**1万台**接続可能 (中継器1台あたり千台)

通信距離が足りなくても・・・



遮蔽物があっても



導入実績

・岩手県、東京都、和歌山県．．．他

複数の自治体様、官公庁様、民間企業様向けに600台以上の販売実績がございます。

イニシャルコスト、ランニングコスト(税抜き)

	イニシャルコスト 本体代金	ランニングコスト サーバー利用料含
基地局	¥ 298,200	¥ 1,000/台
中継器 標準版	¥ 47,200	¥ 500/台
大容量版	¥ 75,200	
乾電池版	¥ 36,200	
罨検知ボックス	¥ 31,200	¥ 500/台

※購入数により変わります。お気軽にお問合せください。

お問い合わせ先

【マクセルフロンティア株式会社】

神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地

TEL : 080-4295-9449 (担当 横山)

Mail : mfc_iot-support@maxell.co.jp

各種電子機器の受託開発および製造・保守。
自社製品(IoT機器、画像認識システム等)の開発から設計・製造までを一貫して行っております。